

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	015 支線型バス実証実験事業							
戦略プラン					担当部課 係名	都市計画部総合交通政策課 交通政策係、交通管理係		
総合戦略					新規・継続	新規		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
要求区分		事業期間	令和元年度～令和 3年度					
個別計画	つくば市公共交通改編実施計画							
根拠法令					事業体制	一部委託		
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
<p>高齢化率の高い筑波地区において、新たな定時定路線の支線型バスを導入することにより、デマンド型交通「つくタク」利用者からの転換などを検証する。</p>				<p>・新たな支線交通として、10人乗ワゴン車を用いた支線型バスを運行する。            コースは、つくタクOD（起終点）データから、筑波地区の中心市街地を通るルートで4コースを設定し、定時定路線とする。            運行時間は、概ね8時～18時、土日祝日運行することにより、つくタクと差別化を行う。</p>				
評価								
事業計画				活動実績				
4月 支線型バス関係者会議 5月 活性化協議会において利用状況報告 8月 支線型バス関係者会議開催 9月 活性化協議会において利用状況報告 10月 支線型バス関係者会議開催 1月 活性化協議会において利用状況報告 支線型バス関係者会議開催 通年 利便性向上に係る方策の検討				4月 支線型バス関係者会議 5月 活性化協議会において利用状況報告 7月 支線型バス沿線施設でのポスター掲示 7月 支線型バス関係者会議 8月 筑波交流センターにおけるPR活動 9月 支線型バス関係者会議 11月 活性化協議会において利用状況報告 12月 支線型バス関係者会議 1～2月 支線型バス体験乗車会				
成果				課題				
<p>筑波地区のつくタク利用者は減少しており、一定数の利用転換が見られるものの、支線型バスの1便あたりの利用者数は平均0.36人と当初計画の1.0人に達していない。            3コース（筑波～北条）は平均0.9人/便である。また、8月以降の平日は1便あたり1.0人以上が利用し、増加傾向にある。</p>				<p>・利用の促進が大きな課題である。特に、特に1コース（寺具～安食～北条）、2コース（寺具～洞下～北条）、4コース（上大島～北条）において利用者数増加を目指す。            ・つくタクからの利用転換等の状況を検証し、本格導入の可否について、整理する必要がある。</p>				
改善目標（R02年度にむけて）								
<ul style="list-style-type: none"> <li>沿線住民に対する周知活動の実施や、説明会開催等を行うことで、利用促進を図る。</li> <li>また、必要に応じて、路線や時刻の見直しを行う。</li> <li>本格導入の可否を整理する上で必要な指標を設定する。</li> </ul>								
指標の推移								
1	指標名	年間利用者数 (人)					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	15,840.0	15,840.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	4,781.0	0.0
	指標の概要	支線型バス全4コースの利用人数。(R2.1月時点)						
2	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	61,404	62,125	62,125
事業費計		(千円)	0	61,404	62,125	62,125
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	1.30		
		時間外勤務 (時間)	0.00	281.67		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	0	9,875		
事業コスト		(千円)	0	71,279		

R02年度当初積算根拠	支線型交通運行実証実験業務委託料 61,751千円 バス停標識作製設置委託料 374千円					

予算の方向性	理由	支線型バス停案内板等の破損個所入替分を計上したことによる拡充
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報								
事務事業名	016 路線バス実証実験事業							
戦略プラン					担当部課 係名	都市計画部総合交通政策課 交通政策係、交通管理係		
総合戦略					新規・継続	新規		
					事業分類	任意的事務		
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証		
要求区分		事業期間	令和元年度～令和 3年度					
個別計画	つくば市公共交通改編実施計画							
根拠法令					事業体制			
					市長公約			
概要								
事業の目的				事業の概要				
高齢化率の高い公共交通の希薄な地域における移動手段を確保し、利便性を向上させるため、既存の民間路線バスを活用した施策を3年間の実証実験として実施する。				<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バス運賃補填実証実験事業：茎崎地区から牛久駅間の路線バス（4路線）について、つくバス並みの運賃で利用できるように運賃を補填（※ICカード利用のみ）</li> <li>路線バス増便実証実験 桜地区を通る民間路線バスの便数を日中時間帯増便</li> <li>路線バス運行実証実験事業 茎崎地区と牛久駅間の路線バスを新規運行し、つくバス並みの運賃で実施</li> </ul>				
評価								
事業計画				活動実績				
5月 活性化協議会において利用状況報告 9月 活性化協議会において利用状況報告 路線バス増便実証実験事業のOD調査実施 1月 活性化協議会において利用状況報告 通年 利便性向上に係る方策の検討 運行事業者との各種調整				5月 令和元年度第1回活性化協議会において利用状況報告 9月 路線バス増便実証実験事業のOD調査実施 10月 路線バス増便実証実験事業の追加OD調査実施 11月 令和元年度第2回活性化協議会において利用状況報告 通年 利用状況の月次分析				
成果				課題				
路線バス運賃補填実証実験事業、運行実証実験事業及び増便実証実験事業について、いずれも当初計画を上回る利用実績を達成。				<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バス増便実証実験事業のOD調査日が、学生のテスト期間に重なり、平時の利用者数より上振れたため、追加のOD調査を行う必要が発生した。</li> <li>各実証実験事業の利用状況を検証し、本格導入の可否について整理する必要がある。</li> </ul>				
改善目標（R02年度にむけて）								
<ul style="list-style-type: none"> <li>路線バス増便実証実験事業のOD調査方法について、運行会社である関東鉄道と協議を行い、より精度の高い調査方法を確立する。</li> <li>各実証実験事業について、本格導入の可否を整理する上で必要な指標を設定する。</li> </ul>								
指標の推移								
1	指標名	路線バス運賃補填実証実験事業の利用者数（人）					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	53,436.0	53,436.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	67,988.0	0.0
	指標の概要	運賃補填事業の対象便及び対象区間をICカードで利用した者の人数（R2. 1月時点）						
2	指標名	路線バス増便実証実験事業の利用者数（人）					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	11,967.0	11,967.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	9,989.0	0.0

指標の概要	日中時間帯に増便した野田団地線（つくばセンター⇄土浦駅※上ノ室経由）の利用者数（R2. 1月時点）							
3	指標名	路線バス運行実証実験事業の利用者数（人）					活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	16,276.0	16,276.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	23,029.0	0.0
指標の概要	「富士見台」と「牛久駅」間を運行する新規路線バスの利用者数（R2. 1月時点）							
4	指標名							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要								
5	指標名							
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
指標の概要								

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和1年度 (決算)	令和2年度 (当初)	令和3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	0	35,323	44,842	44,842
事業費計		(千円)	0	35,323	44,842	44,842
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.00	0.50		
		時間外勤務 (時間)	0.00	108.33		
	臨時職員等	(有無)	無	有		
人件費		(千円)	0	3,798		
事業コスト		(千円)	0	39,121		

R02年度当初積算根拠	路線バス運行実証実験事業負担金	32,479千円
	路線バス運賃補填実証実験事業負担金	7,699千円
	路線バス増便実証実験事業負担金	4,664千円

予算の方向性	理由	路線バス増便実証実験事業は、OD調査に基づき算出した運賃収入相当額を運行経費から差し引いた額を市が負担することとなっているが、令和元年度の運賃収入相当額が当初想定を上回る結果であったことから、負担金予算を縮小した。
縮小		

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報													
事務事業名	567 自転車のまちづくり推進事業												
戦略プラン	II	2	1	交通移動体系の整備			担当部課	都市計画部総合交通政策課					
総合戦略							係名	交通管理係					
							新規・継続	継続					
予算科目	01-080401-20			自転車のまちづくり推進に要する経費						事業分類	任意的事務		
要求区分				事業期間	平成27年度～令和 6年度						市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input checked="" type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証	
個別計画	つくば市自転車安全利用促進計画									事業体制		一部委託	
根拠法令	自転車活用推進法、つくば市自転車の安全で適正な利用の促進に関する条例						市長公約	45	46	47			
							概要						
事業の目的					事業の概要								
環境に優しく、健康増進にもつながる自転車を市内の重要な交通手段の一つとして位置づけ、クルマから自転車への転換を推進する。					<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車の安全で適正な利用を促すことを重点に、つくば市自転車安全利用促進計画に基づく取組を進める。</li> </ul>								
評価													
事業計画					活動実績								
<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車走行空間ネットワーク及び安全安心な道路空間の創出について、委員会の中で議論し、方向性を確認する。</li> <li>各種イベント等を通じて、自転車安全利用を啓発する。</li> <li>つくば霞ヶ浦りんりんロード利活用推進協議会で取り組む事業に、県と関係部署の連携を図りながら注力していく。</li> <li>自転車用ヘルメット購入補助制度について検討を行う。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>自転車のまちつくば推進委員会を7月に開催</li> <li>広域サイクリングイベント「りんりんサイクリング（11月）」に事業協力</li> <li>ナショナルサイクルルート指定を受け、自転車利用環境整備の取組を強化（誘導サイン整備、ヘルメット補助）</li> <li>自転車用ヘルメット購入補助要綱整備及び予算措置</li> <li>市の自転車の取組を強化するため、自転車振興係創設に向けて事業移管等の調整を実施</li> </ul>								
成果					課題								
<ul style="list-style-type: none"> <li>BiViつくば輸行者向け自転車組立スペースを設置</li> <li>自転車安全利用啓発チラシを市民へ計33,000部配布</li> <li>りんりんサイクリングでサイクリスト約500人を市に誘客</li> <li>自転車用ヘルメット購入補助を令和2年から実施する準備が整った。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>アクションプランの見直し作業の進捗が遅れ、令和2年度中に改訂する必要がある。</li> <li>自転車施策を取り巻く国等の動きが速いことから、それに対応した体制を確立する必要がある。</li> </ul>								
改善目標（R02年度にむけて）													
令和2年度に自転車施策を推進する体制ができあがることから、進捗が遅れている「つくば市自転車安全利用促進計画アクションプランの見直し」、「計画に位置付けている新規取組（交通教育、自転車サポーター、安全利用協議体等）」等を新設する係にて推進する。													
指標の推移													
1	指標名	歩行者・自転車・自動車が共生できていると感じる割合（ % ）					成果指標						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度					
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	57.0	0.0					
	実績	52.0	0.0	0.0	0.0	0.0	51.4	0.0					
	指標の概要	自転車施策に関するアンケート調査（5年に1度）の歩行者、自転車、自動車の共生に関する意識（共生できている割合）※R1年度に実施											
2	指標名												
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度					
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0					

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	2,266	1,208	9,819	2,628
事業費計		(千円)	2,266	1,208	9,819	2,628
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.00	1.00		
		時間外勤務 (時間)	295.00	216.67		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	7,790	7,317		
事業コスト		(千円)	10,056	8,525		

R02年度当初積算根拠

○新規事業 7,691千円 自転車用ヘルメット購入補助500千円 路面サイン設置工事7,191千円

○既存事業

【報償費】525千円 委員謝礼、委員会事前打合せ

【旅費】201千円 普通旅費63千円  
特別旅費138千円

【需用費】730千円 事務用消耗品費81千円、参加記念品158千円、印刷製本費462千円  
修繕料29千円

【役務費】24千円 自転車整備費及びイベント16千円

【委託料】737千円 ウェブサイト保守管理及び内容更新業務委託

【使用料及び賃借料】9千円…イベント用駐車料金

【負担金補助及び交付金】28千円  
自転車のまちづくりを推進する全国市区町村長の会費及び自転車利用環境向上会議参加負担金

予算の方向性	理由	新規事業（自転車用ヘルメット購入補助、路面サイン設置工事）を予算計上したことに伴う拡充
拡充		

方向性		
市民ニーズ	5	十分に高く、今後も増加が見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	2	計画から遅れている。（未達成）
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	568 コミュニティバス「つくバス」運行事業									
戦略プラン	II	2	1	交通移動体系の整備	担当部課	都市計画部総合交通政策課				
総合戦略	IV	1	(1)	交通移動体系の整備	係名	交通管理係・交通政策係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費				事業分類	任意的事務				
要求区分				事業期間	平成18年度～					
個別計画					市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
根拠法令					事業体制	一部委託				
					市長公約	42	43			
概要										
事業の目的					事業の概要					
市内公共交通網の幹線として、路線バスを補完し、市内各地の核となる拠点と鉄道駅を結ぶ、都市内交通としての役割を担う。					<ul style="list-style-type: none"> <li>9路線において、一日283便、年間366日コミュニティバスを運行する。</li> <li>市内公共交通の利便性向上のため、BRT（バス高速輸送システム）の導入を検討する。</li> <li>つくバス運行に伴う諸問題を解消するとともに、利用促進に向けた取組を行う。</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市公共交通活性化協議会の開催（再掲） 8月及び12月 幹事会にてBRT導入検討 9月及び1月頃 協議会の開催</li> <li>つくバス利用促進に関すること 11月及び3月 つくバスガイドの改訂及び発行 随時 区会等地域への情報発信</li> <li>つくバスの運行管理に関すること 8月、12月及び2月 つくバス関係者連絡会議 随時 要望等の整理及び検討</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市公共交通活性化協議会の開催 5月及び11月に開催</li> <li>つくバス利用促進に関すること 西部シャトル運行地域に情報発信</li> <li>つくバスの運行管理に関すること 8月及び1月につくバス関係者連絡会議</li> <li>BRT導入検討 8月に活性化協議会委員長に相談</li> </ul>					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>R01年度利用者は、対前年比で94.4%であった。</li> <li>バス路線は2路線、バス停を112か所増設。</li> <li>バス停500m圏域カバー人口は、8.4%増加。</li> <li>BRT等の導入検討調査を再検証した結果、導入は困難との見解となった。</li> <li>市民意識調査の交通の便の悪さについて6.7%改善</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>改編後のつくバス利用者の動向を注視し、利便性向上策を検討する必要がある。</li> <li>特に利用が少ない西部シャトルは、利用促進活動を行うとともに再編も見据えた検討が必要である。</li> </ul>					
改善目標（R02年度にむけて）										
つくば市公共交通活性化協議会の協議を通して、ルートや時刻表の見直しを進める。										
指標の推移										
1	指標名	コミュニティバス利用者数					( 人/年 )		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	1,000,000.0	1,010,000.0		
	実績	888,032.0	953,837.0	1,004,662.0	1,037,547.0	1,052,988.0	994,202.0	0.0		
	指標の概要	コミュニティバス「つくバス」の利用者数（全路線累計）※目標値は令和元年度から設定 ※R01実績値については2月末現在の数値。確定後更新予定								
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移

項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	246,825	259,757	295,980	295,980
事業費計		(千円)	246,825	259,757	295,980	295,980
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	2.00	1.60		
		時間外勤務 (時間)	400.00	346.67		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	15,107	11,707		
事業コスト		(千円)	261,932	271,464		

R02年度当初積算根拠	電気料 11千円					
	上下水道使用料 48千円					
	清掃委託料 86千円					
	つくば市バスマップ作成業務委託料 2,188千円					
	つくバス停留所標識修正委託料 327千円					
	つくバス乗降場所整備工事 286千円					
	つくバス運行負担金 293,034千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性	
市民ニーズ	4 十分に高く、今後も変わらずにあると見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み	
進捗状況	4 計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか	
市の関与	2 今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について	
優先度	2 継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか	



# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	569 デマンド型交通「つくタク」運行事業									
戦略プラン	II	2	1	交通移動体系の整備	担当部課 係名	都市計画部総合交通政策課 交通管理係・交通政策係				
総合戦略					新規・継続	継続				
					事業分類	任意的事務				
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
要求区分			事業期間	令和元年度～令和 3年度						
個別計画										
根拠法令					事業体制	一部委託				
					市長公約	42	44			
概要										
事業の目的					事業の概要					
市内公共交通網の支線として幹線である路線バス等を補完する。 バスへの接続を担うとともに、交通弱者をはじめとする市民の日常生活を支える交通手段の確保を行う。					・5地区（筑波、大穂・豊里、桜、谷田部、荃崎）において、平日（年末年始を除く）9時～16時台にデマンド型交通を運行する。					
評価										
事業計画					活動実績					
・つくタク運行関係者会議 年4回開催（5月、8月、10月、1月） ・つくタク乗降場所設置管理要項（仮称）制定					5月 活性化協議会において利用状況報告 7月 つくタク運行関係者会議開催 11月 活性化協議会において利用状況報告 12月 つくタクドライバー研修に参加					
成果					課題					
・利用者数 前年度比 3.53%減					・収支で、事業に対する市の財政負担率が高い状況が課題である。					
改善目標（R02年度にむけて）										
・支線型バス実証実験運行の検証により、今後のつくタクのあり方について検討を進める。										
指標の推移										
1	指標名	デマンド型交通利用者数					( 人 )		活動指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	52,000.0	51,000.0	51,000.0	54,000.0	54,000.0	65,000.0	65,000.0		
	実績	50,865.0	48,544.0	50,811.0	54,636.0	55,858.0	53,887.0	0.0		
	指標の概要	デマンド型交通「つくタク」の年間利用者数※R1実績2月末								
2	指標名	( )								
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	143,941	146,225	152,350	152,350
事業費計		(千円)	143,941	146,225	152,350	152,350
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.50	0.90		
		時間外勤務 (時間)	597.00	173.33		
	臨時職員等	(有無)	有	有		
人件費		(千円)	12,068	6,532		
事業コスト		(千円)	156,009	152,757		

R02年度当初積算根拠	現場作業用消耗品 93千円 シール印刷代 179千円 備品修繕料 332千円 デマンド型交通システム通信費 1,473千円 損害保険料 30千円 デマンド型交通システムカスタマイズ委託料 3,520千円 デマンド型交通運行実証実験業務委託料 146,723千円
-------------	--

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	1	事業の継続について検討する必要がある。
事業の優先度はどうか		

# 令和元年度 事務事業マネジメントシート

事業の基本情報										
事務事業名	570 地域公共交通網形成計画進行管理業務									
戦略プラン	II	2	1	交通移動体系の整備	担当部課	都市計画部総合交通政策課				
総合戦略					係名	交通政策係				
					新規・継続	継続				
予算科目	01-080401-15 公共交通対策に要する経費				事業分類	法定事務				
要求区分	事業期間 平成28年度～令和 2年度				市民参加	<input checked="" type="checkbox"/> 共有、理解 <input type="checkbox"/> 企画・立案、計画 <input type="checkbox"/> 実行 <input type="checkbox"/> 評価・検証				
個別計画	つくば市地域公共交通網形成計画					事業体制	一部委託			
根拠法令	地域公共交通の活性化及び再生に関する法律 交通対策基本法					市長公約				
概要										
事業の目的					事業の概要					
つくば総合都市交通体系及びつくば市のまちづくりの方針と連携し、利便性が高く、持続可能な公共交通網の実現を図る。					<ul style="list-style-type: none"> <li>つくば市公共交通網形成計画に掲げられた施策を着実に実行し、目標を達成していくために、交通施策の企画・調整及びアンケート調査等による計画全体の目標達成状況の点検、評価、改善等を行う。</li> </ul>					
評価										
事業計画					活動実績					
<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通施策評価・点検業務として、市民及び交通利用者にアンケート調査を実施する。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>11月 公共交通評価点検・業務委託契約締結</li> <li>12月 アンケート調査の実施</li> <li>1-3月 評価及び点検</li> </ul>					
成果					課題					
<ul style="list-style-type: none"> <li>公共交通改編後の各交通施策の利用状況を分析することでR2年度の改編に向けた基礎データを整理するとともにつくバス等の改善策について交通事業者と協議を進めた。</li> <li>つくば市公共交通網形成計画目標値について、点検評価を実施した。</li> </ul>					<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の実情に合った利便性の高い公共交通ネットワークの構築を図る必要がある。</li> </ul>					
改善目標（R02年度にむけて）										
<ul style="list-style-type: none"> <li>H31年4月に実施した公共交通改編に伴い実施した各交通施策の方向性を整理するとともに、交通系ICカード等のビッグデータを活用した改善策を検討し、第2次つくば市地域公共交通網形成計画に反映させることで、継続的に公共交通ネットワークの構築を図っていく。</li> </ul>										
指標の推移										
1	指標名	つくば市地域公共交通網形成計画目標の達成割合					( % )		成果指標	
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0		
	実績	0.0	0.0	11.1	11.1	11.1	55.5	0.0		
	指標の概要	地域公共交通網形成計画の関連指標9項目の達成割合(5年に一度の見直し)								
2	指標名						( )			
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度		
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0		

	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	6,209	2,807	22,717	13,433
事業費計		(千円)	6,209	2,807	22,717	13,433
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	1.50	0.60		
		時間外勤務 (時間)	400.00	130.00		
	臨時職員等	(有無)	有	無		
人件費		(千円)	11,579	4,558		
事業コスト		(千円)	17,788	7,365		

R02年度当初積算根拠  
 顧問報酬 480千円、費用弁償 14千円、普通旅費 55千円、特別旅費 136千円  
 事務用消耗品 39千円、新聞購読料 36千円、郵便料(料金後納分) 208千円  
 地域公共交通網形成計画策定業務委託料 9,284千円、公共交通政策点検・評価業務委託料 4,807千円  
 除草業務委託料 156千円、講習会受講料 24千円、茨城県常磐線整備促進期成同盟会負担金 13千円  
 茨城空港利用促進等協議会負担金 400千円、関東ブロック都市交通計画担当者会議参加負担金 10千円  
 茨城県公共交通活性化会議負担金 50千円、つくば市公共交通活性化協議会負担金 840千円  
 バス運行対策負担金 5,085千円、ノンステップバス購入補助金 1,080千円

予算の方向性	理由	第2次地域公共交通網形成計画策定業務委託料を計上したことが拡充の主な要因
拡充		

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	3	法令等により、市の実施が定められている。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		



	指標の概要							
3	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
4	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							
5	指標名	( )						
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	R01年度	R02年度
	目標値	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	実績	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
	指標の概要							

コストの推移						
項目			平成30年度 (決算)	令和 1年度 (決算)	令和 2年度 (当初)	令和 3年度 (当初)
財源内訳	国庫支出金	(千円)	0	0	0	0
	県支出金	(千円)	0	0	0	0
	地方債	(千円)	0	0	0	0
	その他	(千円)	0	0	0	0
	一般財源	(千円)	214	151	215	215
事業費計		(千円)	214	151	215	215
人件費内訳	正職員	従事割合 (人)	0.50	0.10		
		時間外勤務 (時間)	17.00	21.67		
	臨時職員等	(有無)	無	無		
人件費		(千円)	3,572	733		
事業コスト		(千円)	3,786	884		

R02年度当初積算根拠	普通旅費 95千円 事務用消耗品 20千円 茨城県つくばエクスプレス三市推進協議会負担金 50千円 つくばエクスプレス沿線都市連絡協議会負担金 50千円					

予算の方向性	理由
維持	

方向性		
市民ニーズ	3	今後も一定の市民ニーズが見込まれる。
市民ニーズと今後の見込み		
進捗状況	4	計画通りに進めることができた。
事業が計画的に進んでいるか		
市の関与	2	今後も市が実施するほうがよい。
行政が関与する必要性について		
優先度	2	継続して実施する必要がある。
事業の優先度はどうか		